



# 第6回 日本一学生が活躍するまちづくり ワークショップ

日時：2025.7.9（水）18：00～19：30

場所：宇部市役所本庁舎3階 会議室3-3・3-4

宇部市は、令和7年度から学生の感性と行動力をまちづくりに反映させて“若者に選ばれるまち”を目指す「日本一学生が活躍するまちづくり」事業を開始しました。学生の視点・発案をまちづくりに反映させる仕組みを構築・実践するためのワークショップには、公募により選ばれた市内外の大学生約40人が参加しています。

## 《グループワーク》

### 「政策提案に向けて30人超の職員と議論！」

第6回目は、前回発表した政策案について、参加学生と宇部市の職員約30人が意見を交わし、具体化する作業に取りかかりました。

ワークショップ開始前に、学生は市長室や応接室を訪問し、市長席に座って日頃の執務について市長から説明を聞いたり、宇部市にゆかりの深いスポーツ選手やアーティストなどのサインを紹介され、宇部市や市長の仕事について理解を深めました。

発表後は発表された案ごとに、来年度の事業として採択されることを目指し、関係する部署の担当職員が学生と意見を交わしました。



このうち、奨学金制度に関する提案については、職員から今年度から申請が始まる新制度の説明があった一方、学生はアイデアが生まれた経緯や制度確立への思いを伝えていました。

提案した学生は「職員の皆様からも実現に向けてサポートしたいと言葉をもらった。最終発表に向けて、さらに作業を進めたい」と話していました。

また、学生の交流促進に向けた新たな場づくりを提案するチームでは、職員から「市民交流棟」（2期棟）が8月にオープンすることや、宇部市の旧井筒屋跡地で整備が進む複合施設「ときわスクエア」が令和9年に完成する見通しだという説明がありました。

これに対して、学生からは「こうした新たな施設に小学生から大学生までが『いま知りたい情報』を交換しながら交流を深めたり、新たな価値観に触れたりできる空間がほしい」と意見が述べられました。

次回（7/16）は、ワークショップとしての最終回を迎えます。その後は各自で提案をさらに具体的にした上で、10月に最終案を発表する予定です。



ワークショップが始まると、学生はそれぞれ提案を目指している案を発表しました。具体的には、学生のさらなる活躍を後押しするチーム設立や交流促進、貧困世帯の学びたい若者への奨学金制度や、不登校の児童・生徒への支援、子育て支援のさらなる拡充、小中学校での教育拡充などが挙げられています。

